



エコアクション21  
認証番号0002681

# 環境活動レポート

2020年度版

(活動期間：2020年4月 ～ 2021年3月)

株式会社 スエヒロ



作成日 2021年5月7日

## 1. 環境経営方針

### 【理念】

株式会社スエヒロは、環境事業である廃棄物処理及び資源リサイクルを通じて、環境経営システムを構築し、環境保全に貢献します。

### 【行動指示・方針】

1. 当社が適用を受ける環境関連の法規制、及びその他の要求事項を遵守します。
2. 当社事業活動において、以下の重点項目の推進に努めます。
  - ① 省資源、省エネルギー活動
  - ② 産業廃棄物の中間処理に於けるリサイクル率向上
  - ③ 節水活動
  - ④ クールビズ・ウォームビズ
3. 環境目標を定め、見直しを実施することにより継続的改善に努めます。
4. この環境方針を全従業員に周知徹底し、環境保全活動の向上に努めます。
5. 受託した産業廃棄物の収集運搬、処分について、環境配慮に努めます。
6. 環境関連法規等の遵守。
7. 環境経営方針の継続的改善を誓約する。



株式会社スエヒロ  
代表取締役 杉原 尚久

平成 20 年 7 月 16 日 制定  
令和 2 年 4 月 1 日 改定

## 2. 事業の概要

事業所名	株式会社スエヒロ
代表者氏名	代表取締役 杉原 尚久
本社事務所所在地 (有)末広工業・(株)スエヒロ	〒808-0021 北九州市若松区響町一丁目73番地
第1工場所在地	〒808-0021 北九州市若松区響町一丁目54番地
第2工場所在地	〒808-0021 北九州市若松区響町一丁目86番8号
3R STATION場所在地	〒808-0021 北九州市若松区響町一丁目89番4号
設立年月日	昭和21年6月
資本金	300万円
環境管理責任者	代表取締役 杉原 尚久
連絡担当者	杉原 尚久
電話番号・ファックス番号	093-751-4411 ・ 093-751-4412
E-mail	eco@suehiro-w.co.jp
認証登録日	2008年7月16日
認証登録の対象範囲	全組織・全活動・全従業員
事業の概要(事業活動の内容)	(有)末広工業：産業廃棄物処分業(中間処理) (株)スエヒロ：産業廃棄物処分業(中間処理) ：一般廃棄物収集運搬業 ：産業廃棄物収集運搬業 ：特別管理産業廃棄物収集運搬業

### 事業の規模

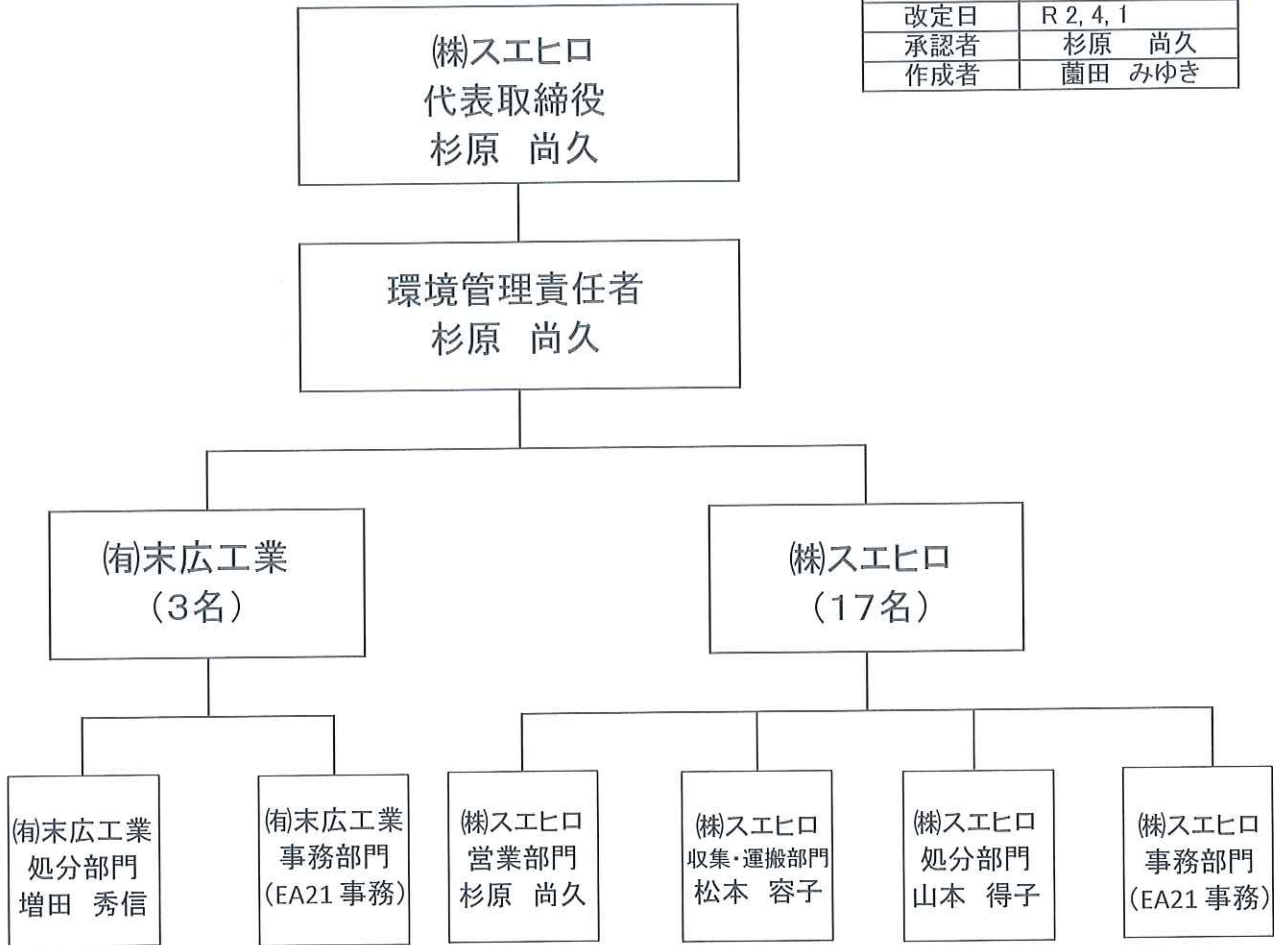
	単位	令和2年度
売上高	万円	59,799
収集運搬業実績	t	6,873.5
産業廃棄物中間処理実績	t	14,849.2
従業員	人	20
事業所の敷地面積：第1工場	m <sup>2</sup>	1,650.08
：本社事務所	m <sup>2</sup>	1,200.00
：第2工場	m <sup>2</sup>	5,031.73
：3R STATION	m <sup>2</sup>	3,600.18
敷地面積 合計	m <sup>2</sup>	11,481.99



レポート対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日

### 3. EA21 実施体制

制定日	H19,10,24
改定日	R 2, 4, 1
承認者	杉原 尚久
作成者	藺田 みゆき



役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
杉原 尚久	取締役 環境管理責任者	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し 全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築・運用し、その状況を把握する
増田 秀信	(有)末広工業 処部門	処部門の責任者、電力、水、廃棄物排出管理
松本 容子	収集・運搬部門	収集運搬部門の責任者、車燃料(軽油)消費量管理、効率的な収集・運搬業務管理
山本 得子	(株)スエヒロ 処部門	処部門の責任者、電力、水、廃棄物排出管理
事務	EA21事務部門	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
関係者全員	EA21推進会議	1回/3ヶ月、実績の推進状況等を確認する

#### 4. 優良産廃処理業者認定制度の情報公表項目

- 1) 廃棄物処理量 : 各種諸条件・個別見積りにより異なります。  
 (廃棄物種類・荷姿・重量・数量・距離等)  
 お問い合わせ先(本社) TEL : 093-751-4411  
 FAX : 093-751-4412
- 2) 許可した都道府県・政令市 : 北九州市
- 3) 事業の範囲(中間処理業)

3R STATION				
処理方法	産業廃棄物の種類 (自動車等破砕物を除く)	種類数	台数	処理能力
破砕機 フォレック	廃プラスチック類	8種類	1台	376 t / 日(24h)
	紙くず			322 t / 日(24h)
	木くず			592 t / 日(24h)
	繊維くず			172 t / 日(24h)
	ゴムくず			319 t / 日(24h)
	金属くず			434 t / 日(24h)
	ガラスくず			640 t / 日(24h)
	がれき類			948 t / 日(24h)
選別施設	廃プラスチック類	8種類	1台	8種類合計 243.2m <sup>3</sup> /日(8h)
	紙くず			
	木くず			
	繊維くず			
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず			
	がれき類			
破砕機 コメット	廃プラスチック類	5種類	1台	415 t / 日(24h)
	紙くず			356 t / 日(24h)
	木くず			765 t / 日(24h)
	繊維くず			191 t / 日(24h)
	ゴムくず			319 t / 日(24h)
圧縮機	廃プラスチック類	5種類	1台	235 t / 日(24h)
	紙くず			235 t / 日(24h)
	木くず			369 t / 日(24h)
	繊維くず			211 t / 日(24h)
	ゴムくず			349 t / 日(24h)
移動式2軸 破砕機	廃プラスチック類	1種類	1台	167 t / 日(24h)

第2工場				
処理方法	産業廃棄物の種類 (自動車等破砕物を除く)	種類数	台数	処理能力
圧縮機	廃プラスチック類 紙くず	2種類	1台	52 t / 日(8h)
				47.2 t / 日(8h)
株 式 会 社 ス イ ヒ □				
許可番号 第07620151415号				
(更新許可年月日)				
令和 元年 12月 2日				
許可の有効年月日				
令和 6年 12月 1日				
許 可 条 件 : 無				

第1工場				
処理方法	産業廃棄物の種類 (自動車等破砕物を除く)	種類数	台数	処理能力
溶融機2号	廃プラスチック類	1種類	1台	0.64 t / 日(8h)
溶融機3号	廃プラスチック類	1種類	1台	0.64 t / 日(8h)
第2工場				
破砕機	廃プラスチック類	4種類	1台	2.8 t / 日(8h)
	金属くず			4.8 t / 日(8h)
	木くず			4.4 t / 日(8h)
	ガラスくず			4.5 t / 日(8h)
溶融機3号	廃プラスチック類	1種類	1台	0.16 t / 日(8h)
有 限 会 社 末 広 工 業				
許可番号 第07620004910号				
(更新許可年月日)				
平成29年 6月 29日				
許可の有効年月日				
令和 4年 6月 28日				
許 可 条 件 : 無				

4) 運搬施設の種類・数量

収集運搬車両	車 両 形 式	積載量	台数
	ユ ニ ッ ク	4 t	1台
	キ ャ ブ オ ー バ ー	15 t	1台
	ウ イ ン グ	15 t	1台
	塵 芥 車	8 t	1台
	塵 芥 車	4 t	2台
	脱着装置付コンテナ専用車	2 t	1台
	脱着装置付コンテナ専用車	4 t	3台
	脱着装置付コンテナ専用車	15 t	2台
	ク ラ ム 車	8 t	1台

コンテナ	種類	積載量	台数
	15 t用コンテナボックス	28m <sup>3</sup>	2台
	15 t用コンテナボックス	25m <sup>3</sup>	1台
	4 t用コンテナボックス	8m <sup>3</sup>	80台
	2 t用コンテナボックス	4m <sup>3</sup>	25台



5) 積替保管場所の所在地及び面積（北九州市）

株式会社スエヒロ

種類	保管能力			施設の種類	保管施設
動植物性残渣	面積 18m <sup>2</sup>	高さ 1.5m	容量 (最大保管量) 8m <sup>3</sup>	屋内にて保管	鉄製コンテナ/8m <sup>3</sup>
がれき類	面積 18m <sup>2</sup>	高さ 1.5m	容量 (最大保管量) 8m <sup>3</sup>	屋内にて保管	鉄製コンテナ/8m <sup>3</sup>
ガラスくず	面積 24m <sup>2</sup>	高さ 1.5m	容量 (最大保管量) 8m <sup>3</sup>	屋内にて保管	鉄製コンテナ/8m <sup>3</sup>
廃プラスチック類	面積 18m <sup>2</sup>	高さ 1.5m	容量 (最大保管量) 8m <sup>3</sup>	屋内にて保管	鉄製コンテナ/8m <sup>3</sup>
水銀使用製品 産業廃棄物	面積 18m <sup>2</sup>	高さ 1.5m	容量 (最大保管量) 8m <sup>3</sup>	屋内にて保管	専用ケース
許可条件					
積替え又は保管を行う動植物性残さは、性状が変化しないうちに搬出すること。					

6) 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

株式会社 スエヒロ

特管産業廃棄物収集運搬業				許可項目																	
都道府県 及政令都市	積替保 管	許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃石綿等	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	建設廃材	ばいじん	鉱さい	がれき類	
				有	無																
福岡県 (特管)	○	平成30年12月19日 令和5年12月18日	第04000151415号	○	○	○	○	○	○											○	
積替保管施設の所在地及び面積、 許可の条件																					
トク001升・トク001升を含むこと のみによる、有害な物に限る																					

株式会社 スエヒロ (●⇒積替保管を含む)

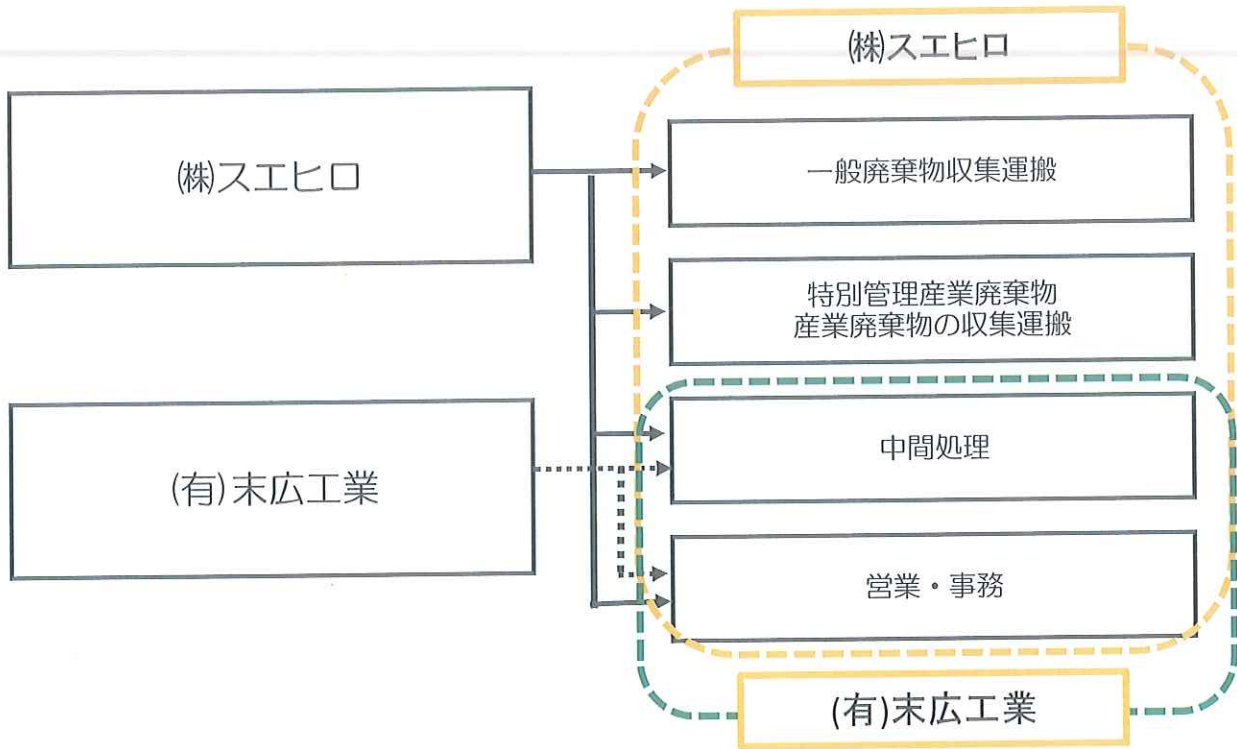
産業廃棄物収集運搬業				許可項目																	許可条件			
都道府県 及政令都市	積替保 管	許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	ばいじん	ダスト類	鉱さい	がれき類	陶磁器くず	コンクリートくず	ガラスくず・ コンクリートくず	積替保管施設 の所在地及び 面積、許可の 条件
				有	無																			
北九州市	○	平成29年6月29日 令和4年6月28日	第07600151415号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし
福岡県	○	令和2年1月19日 令和7年1月18日	第04000151415号	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○	○			なし
山口県	○	令和2年4月27日 令和7年4月26日	第03500151415号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		なし
熊本県	○	平成30年3月7日 令和5年3月6日	第04305151415号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		なし

株式会社 スエヒロ

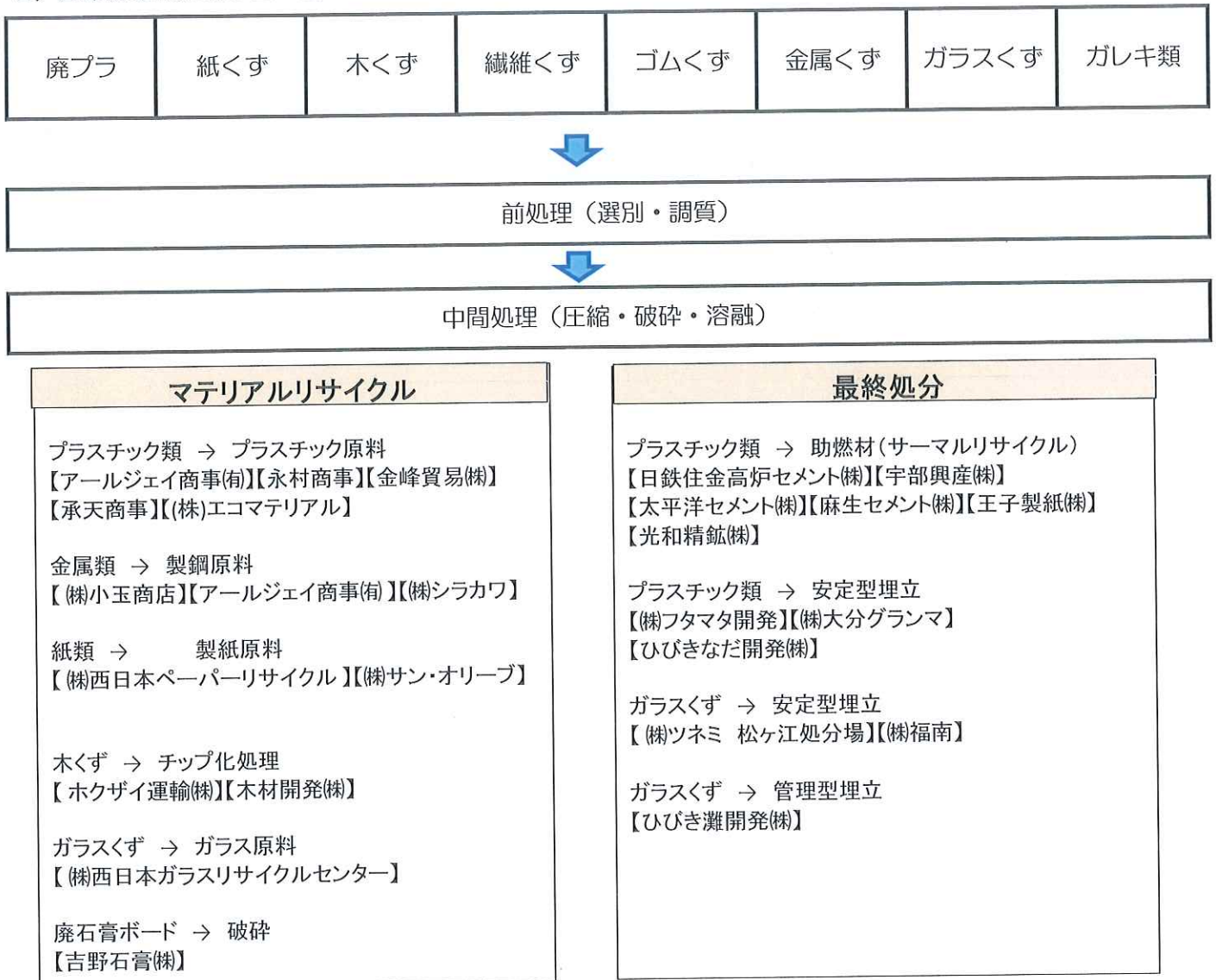
一般廃棄物収集運搬業				許可項目	
都道府県 及政令都市	積替保 管	許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	A類	(5ん尿を除く一般廃棄物)
				有	無
北九州市	○	令和1年5月25日 令和4年5月24日	北九一廃 第603号	○	



7) 組織図



8) 産業廃棄物処理フロー図



## 9) 処理実績

産業廃棄物処理量(令和2年度)

品目	収集運搬(t)	中間処理(t)	再資源化(t)	最終処分(t)
汚泥	427.9			
廃プラスチック類	4,178.9	11,863.6	9,626.5	2,237.1
紙くず	180.4	646.7	580.0	66.7
木くず	1,071.4	827.0	787.6	39.4
金属くず	167.3	362.8	329.8	33.0
ガラス・陶磁器くず	531.8	1,002.2	892.1	110.1
廃油				
繊維くず	121.9	1.1	1.1	0.0
ゴムくず	2.2	11.3	11.3	0.0
がれき類	181.2	134.5	0.0	134.5
動植物性残渣	10.1			
pH2.0以下の廃酸	0.5			
特定有害産業廃棄物(汚泥)				
合計	6,873.5	14,849.2	12,228.4	2,620.8

## 10) 一般廃棄物収集運搬量

年度	期間	受託件数	受託した一般廃棄物の処理量
平成29年度	H29・4/1~H30・3/31	82件	2723.4t
平成30年度	H30・4/1~H31・3/31	106件	2487.3 t
令和元年度	H31・4/1~R2・3/31	118件	1535.7 t
令和2年度	R2・4/1~R3・3/31	102件	716.9 t

## 11) 売上高

	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
売上高	万円	43,549	50,442	59,687	59,799
収集運搬実績	t	4,807.7	2,482.0	6,959.1	6,873.5
処理実績	t	2,482.0	5,977.0	5,380.5	14,849.2

## 5. 当年度及び中期環境目標

### 1) 環境への負荷の状況

環境目標	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	162,453	160,828	159,220	157,628
電力	kWh	86,177	85,315	84,462	83,617
軽油	L	44,564	44,118	43,677	43,240
総給水量の削減	m <sup>3</sup>	268	265	262	259
受託産業廃棄物のリサイクル率向上	総処理重量 あたり(%)	79	80	81	82
一般廃棄物の適正処理	数値目標は掲げず、適正な処理の為の環境活動計画に取り組んで継続する				
<ul style="list-style-type: none"> <li>響灘暴力追放協議会一斉清掃参加</li> <li>響灘地区暴力追放パレード参加</li> <li>特別支援学校研修生受入</li> </ul>	実施	実施	実施	実施	

※二酸化炭素排出係数はH27年度の九電の排出係数：0.528を用いる。

二酸化炭素排出係数はR1年度の日本テクノの排出係数：0.501を用いる。

二酸化炭素排出係数はR1年度のナフエナジーの排出係数：0.0を用いる。

※環境目標の（基準年度）の見直し年度に当り、平成27年4月以降に策定している。

（平成26年度の実績数値・目標数値・現在の設備・重機：車両の追加購入で、増加した分を加味し無理のない範囲での環境目標を設定した。）

※化学物質は使用していない。

## 6. 主要な環境活動計画の内容



### 1) 二酸化炭素排出量削減

- ① 分別・選別によるリサイクル率の向上（H29.1.20 焼却炉廃止）
- ② 不要電力消費抑制・太陽光設置(増設を含む)により売電量増加の実施
- ③ リフト・yunboの作業効率の見直し・適切なメンテナンス及び環境での活用  
(期間を定めての計画的な購入を推進)
  - ・重機等の稼働の効率を考える事により、燃料等も削減になり消耗品の必要性が少なくなる。【ムリ・ムダ・ムラを無くす】
  - ・老朽化が進んだ重機の買替の際は、最新技術をクリーンな活かした排出ガス及び低燃費性能機種を選択し、稼働率・処理等能力向上アップを実現。  
(ここ2～3年は老朽化に伴いの購入及び増車が続き、期間を見越しての計画的な購入の推進)
- ④ 運搬車両の更なる効率の見直し（期間を定めての計画的な購入を推進）
  - ・老朽化が進んだ車両の買替の際は、環境対応の低排出ガス重量車で環境への負荷低減の車両を選択して購入するようにする。
- ⑤ 車両・重機等 アイドリングストップ・エコドライブの実行実施を強化継続・全車両にデジタル式運行記録計の搭載（メーカー限定になるが順次取り付ける）
  - ・全車両にデジタル式運行記録計を計画的に搭載し、二酸化炭素が環境に係る数値の把握を可能にする。

## ⑥事務所・工場内での節電の励行

- ・ エアコンフィルターの清掃(年4回程度)・退出時のパソコン、プリンターの主電源OFF 継続実施  
エアコンの設定温度を守る 継続：冷房28℃：暖房25℃（年々気温が上昇傾向にある為、基準であり、無理ない程度の励行も止むを得ない場合もあるかも知れない）
- ・ 必要の無い所の電気は、こまめに切るよう日々の心がけが重要。
- ・ 全社内LED照明導入

## ⑦営業車として水素車ミライを導入

### 2) 総給水量の削減

#### ① 事務所・工場内一節水（会社全体での励行）

- ・ 社内での手洗い・洗物・散水の際節水 継続実施
- ・ 水道メーター・水道蛇口など漏水していないかチェックする。
- ・ 冬場の水道管破裂防止の事前点検を実施する。

#### ② 社用車の洗車・清掃等は日を決め回数を減らし節水に努める。 継続実施

### 3) 受託産業廃棄物のリサイクル率向上

#### ① 破砕機・溶融機の毎年の稼働及びリサイクルの見直しはしているものの中々効率化見直しには繋がらず。継続実施

#### ② 分別・選別による焼却処理の低減

- ・ サーマルリサイクルを実施している会社を探索し取引を広げ処理の仕方の見直しを図り、焼却量を徐々に減少させる。継続実施
- ・ 手選別の徹底が出来ているか、資源化出来るよう努める。継続実施

### 4) 一般廃棄物の適正処理

#### ① 粗大ゴミ等の再利用化（回収する時に、再利用できるかふまえて、積み込む）

#### ② 分別ゴミの把握

- ・ 事務所・工場内の自社から出るごみの選別を徹底し、再生化・減量化を常に意識して継続実施中。

## 7. 目標と実績

環境目標	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度 目標	令和2年度 実績	達成率 (%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	162,453	160,828	350,784	46%
電力	kWh	86,177	85,315	696,570	12%
軽油	L	44,564	44,118	48,200	92%
総給水量の削減	m <sup>3</sup>	268	265	462	57%
受託産業廃棄物の リサイクル率向上	総処理重量 あたり (%)	79	80	82	102.5%
一般廃棄物の適正処理	数値目標は掲げず、適正な処理の為の環境活動計画に取り組んで継続する。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 響灘暴力追放協議会一斉清掃参加</li> <li>・ 響灘地区暴力追放パレード参加</li> <li>・ 特別支援学校研修生受入</li> </ul>	実施	実施	実施	100%	

※電力の排出係数はH27年度の九電の排出係数：0.528を用いる。

電力の排出係数はR1年度の日本テクノの排出係数：0.501を用いる。

電力の排出係数はR1年度のナンワエナジーの排出係数：0.0を用いる。

## 8. 環境活動の取組結果の評価

### 1) 二酸化炭素排出量削減

- ①機械・トラックの増加により二酸化炭素排出量が増える形となった。  
今後は基準値の見直しをし、今後削減していける所を見つけていかななくてはならない。
- ・電力・軽油は更なる努力で維持できるように継続したい。
  - ・重油を使用する機械を減らし、軽油や電力に移行した為0となっている。
  - ・3RSTATION本格始動により電力使用量が増えた。  
※実績をふまえ、目標値見直し予定。



### 2) 総給水量の削減

- ①機械・トラックの増加に伴い使用量が増えている。
- ・3RSTATION本格始動の為生活用水が増えた。  
※実績をふまえ、目標値見直し予定。
  - ・今後はどの様に削減していけるかが課題となりそうだ。

### 3) 受託産業廃棄物のリサイクル率向上

- ①搬入物の種類が従来より大幅に増えた為、  
今後は無理のない設定が必要となる。
- ・選別はこれまで以上に徹底する。



### 4) 一般廃棄物の適正処理

- ①今年度は対象商品購入を心掛けると共に最大限に無駄を省き、  
購入自体を少なくするよう心掛けた。  
よって、購入品目は減ったが、全体の購入品目に対する、  
対象商品の割合は増えている。
- ・今後も購入する時はグリーンマーク・エコマーク・リサイクル  
マーク等に注意していく。

## 9. 次年度の取組内容

3R STATION本格始動や新しい車両等導入により、基準値の見直しを新たに行い、今後の取組を行っていく。

CO2削減の為、今後導入する重機等も電気動力に移行していく。

太陽光による自家発電を行い電力購入は減らしていく。

来年度以降良い結果が出せる様に社員一同取り組んで参りたい。

## 10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法の遵守状況をチェックの結果違反はありませんでした。尚、関係当局より違反の指摘、利害関係からの控訴等も過去10年間ありません。

法律名等	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	問題無し
騒音規制法	問題無し
消防法	問題無し

## 11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境変化・汚染等の話題が度々上って来ては、いつの間にか話題が途切れ社会全体では対策はされているのだろうが、身近ではあまり感じられないようだ。自分達に置換えてみれば、毎年適切な方法はないか試行錯誤をしてはいるがいくらかでも削減達成に繋げ、目標へと近づける若しくは維持・向上するよう考えあぐねている。資源は限られた物と意識し、ゴミは資源だと常に意識し持続可能な目標を目指し取組を継続して「循環型社会」・「ゼロエミッション」・「低エントロピー」・「3R」等、更なる意識を高めていくこと。達成に至らない結果の時は、従業員共々踏まえ今後の対策に活かせるように検討し、より身近な環境からCO2濃度の上昇の抑制に繋がるよう視点・発想の転換を試みる事も、ひとつの取組みが継続へと繋がるのではないかと。